

2024年6月1日

神戸学園都市 YMCA こども園 6月えんだより

6月の聖句「見よ、それはきわめて良かった。」

創世記1章31節

沖縄から梅雨入りの知らせが届きました。近隣の多くの田んぼでは、土が耕され、水を張って田植えの準備が進められています。これから秋にかけて田んぼで作られるお米は、私たちの食卓に欠かせないものです。そして、この米作りに欠かせないのがまさしく神様からの恵みの雨です。一方、先日は日本各地で警報が出るほどの大雨が降り、交通機関が乱れるなどの被害が出ました。また、子どもたちにとっては、お散歩に行けなくなってしまう……。けれども、神様が創られた『雨』を大きな恵みとして受け取れるような毎日が過ごせればと願います。

「憧れるのをやめましょう」あのWBCの感動から1年以上が過ぎました。野球に比べれば少しマイナーかもしれませんが、その半年後には、男子バスケットボールチームが、48年ぶりに自力でオリンピック出場を獲得したといううれしいニュースがありました。このバスケットボール、今から130年余り前にアメリカ、マサチューセッツ州スプリングフィールドにあった国際YMCAトレーニングスクールの教官、ジェームズ・スミスが考案したものです。その後、このスクールで学んだ日本のYMCAスタッフが日本に持ち帰り、紹介、普及をして今日に至っています。YMCAでは、今も子どもたちにバスケットボールの指導を行っていますが、この中で長年変わらず続いている指導方針があります。それは、「マンツーマンディフェンス（1対1、人優先）」と呼ばれるものです。私が指導に携わっていた30年余り前、多くの小学校のチームは「ゾーンディフェンス（5対5、場所優先）」を行っていました。しかし、2016年以降、15歳以下はこの「ゾーンディフェンス」が禁止されました。その理由は5対5、場所優先のゾーンディフェンスであれば、個々の守備力が高くなくても「助け合える」から、個々の能力を上げることができないといったものでした。日本のバスケットボールがより強く、より勝てるようになるためです。けれど、YMCAが「マンツーマンディフェンス」を続けてきたのは、個々の体力や体格、技術力の差異に係わらず、個々の役割と責任を明確にし、任せる。その中から生まれる助け合いや励まし合い、また、それぞれの向上心を大切にするという思いからのものでした。競技である以上、勝つことはとても意味のあるものですが、同時に競技の中でひとりひとりを大切にする術（すべ）として「マンツーマンディフェンス」を守ってきたのです。YMCAの「ひとりひとりを大切に」の思いは、神様がお造りになったすべてのものを御覧になり、「見よ、それはきわめて良かった。」とされたことが根っこになっています。

I'm OK! You're OK! 若い頃、先輩からよく聞かされた言葉です。私もあなたも、そして、自然物すべては神様が創られ「良し」とされたものです。すべてのものを「良し」とする歩みを人々と共に歩むことができる、そのような世の中の実現を祈ります。

6月	乳児（0,1,2歳児）	幼児（3,4,5歳児）
月主題	あれっなんだ	みつける
月の願い	*保育者の祈りや讃美歌を歌う姿に触れる。 *自分の好きなものと関わる中で、興味を広げていく。 *自然に触れ、親しみ、心と体で感じる。	*保育者と祈り、賛美する生活を通して、神様の存在を知る。 *友だちと一緒に楽しみ満足感を感じる。 *園内外の自然に触れ、気候の変化を感じ、開放感を味わう。
讃美歌	「ことりたちは」 こども改10	「虹の架け橋」 川上盾牧師